

2月

# くうちゃん通信

令和8年2月  
田原小学校図書室

2月は1年で寒さがもっとも厳しい月です。しかし、2月4日の「立春」を迎えると暦の上では春の季節がやってきます。

どこが春なの?と、思ふかもしれません、ほころび始める梅の花や少しずつ伸びる日の長さに、春の気配を感じることができます。春はもうすぐそこまでやってきています。

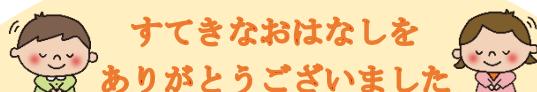
## ☆ 本 de しりとり ~図書室の本を使ってしりとりをしよう~ ☆

図書室にある本の題名をつなげて、しりとりを完成させよう!しりとりで使った本を1冊以上借りると、田原中学校の生徒さんが作ったオリジナルのしおりがもらえます。(なくなり次第終了)

今年のしおりは裏面にも注目!田原地域学校園の図書室で目標にしている利用ルールやマナーが書かれています。参加方法は図書室で確認してください。



田原中のキャラクター  
たわんち



読み聞かせボランティアの方々には、5月から1月まで全学年でのべ90作近くのお話を読んでいただきました。これだけのお話にふれることができたのは、本当にすばらしいことです。今年度は2月18日が最後の読み聞かせです。お世話になった感謝の気持ちを胸に、お話を時間を楽しめましょう。

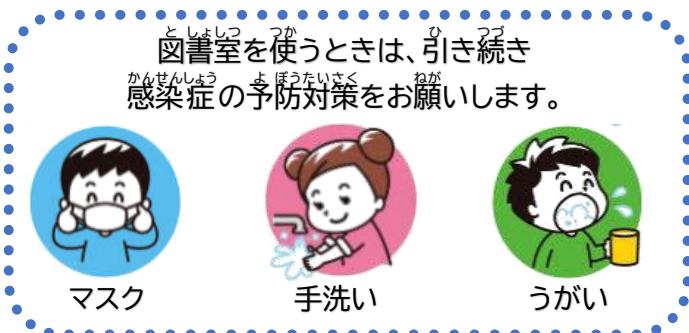
たの



## おしらせ

6年生への本の貸出は、2月27日(金)まで終了とします。借りた本は、3月6日(金)まで忘れずに返すようにしてください。よろしくお願ひします。

1~5年生の3月の貸出については、3月号のくうちゃん通信でお知らせします。



【節分】は、春が来る季節の変わり目に豆まきをして災いを払う行事です。さて、みなさん  
は正しい節分の豆のまき方を知っていますか？

地域によって違いますが、一般的には家の窓を開けて「鬼は外！」と2回豆をまき、鬼が戻らないようすぐに窓をしめてから、「福は内！」と部屋の中に2回まきます。胸のあたりでマスを持ち、そこからまくような感じで下手投げをすると、心の中の鬼も追いはらうことができると言われています。



## 今月のおすすめの本

節分にピッタリ！鬼が活躍するお話を紹介します。



『すみ鬼にげた』

岩城 範枝：作  
福音館書店  
913  
イ

奈良の唐招提寺を守る四人の“すみ鬼”のうち、一人の顔だけが違っているのはなぜか？今から300年前の元禄時代の物語。



『おにたのぼうし』

あまん きみこ：作  
ポプラ社  
ア

節分の夜。どの家からも豆をまく音がして、鬼の子“おにた”は行くところがありません。ようやく静かな家を見つけますが、その家には・・・。



『オニのサラリーマン』

富安 陽子：作  
福音館書店  
ト

赤オニのオニガワラ・ケンは地獄カンパニーの平社員。今日もスーツに着替え、満員バスに揺られて地獄まで出勤します。

## 読み書きのバリアフリー



【くうちやん通信1月号】でもお伝えしましたが、図書室では、現在、バリアフリー図書の特集を行っています。【公益財団法人 文字・活字文化推進機構】からお借りした点字図書や録音図書、LLブック（やさしく読みやすい本）などを、実際に読んで・聞いて・触って体験することができます。



点字で書かれた絵本や図鑑に触れたり、点字器を使って点字を書いてみたりすることができます。

音声と文字や画像が同時に表示されるデジタル図書を体験中！



福祉についての調べ学習でも活用しています。

【文字・活字文化推進機構】が作成した小冊子『バリアフリー図書の森へようこそ！』を、下記のQRコードで読むことができます。バリアフリー図書のことがとても分かりやすく解説されているので、ぜひ、読んでみてください。



**おしゃらせ**

2月の火・木曜日の昼休みに、図書委員が図書室で読み聞かせを行います。  
実施日は給食の時間に放送でお知らせするので、楽しみにしてください。